

第2回ICT、IoT推進プロジェクトチーム会議 議事録

日時：平成30年7月20日14:00～15:30

場所：道庁地下1階総合政策部会議室

【 開会について 】

<情報政策課主幹>

- 資料の確認

【 道がICT、IoTに取り組む際の課題等 】

<情報政策課主査>

- 第1回で説明できなかった「北海道のICT、IoT推進について」を説明
- 第1回会議で説明された各課の取組において、共通する目的や課題があるのでそれをまとめた。

【 「ものづくりテクノフェア」の出展について 】

<経済部科学技術振興室主査>

- 7月26日に「ものづくりテクノフェア」に出展する。
- 昨年事業で行ってきた、公立はこだて未来大学での漁獲予測システム、漁場予測システムなど、5つの展示を行う。
- 農林業支援ロボットの展示もある。
- 「AI/IoT等導入促進セミナー」も同時開催。

【 「灯油難民防止等に向けた地域実証実験」 】

<石狩振興局農務課主査>

- 石狩振興局が灯油難民防止に向けた取組を行った経緯を説明。
- 行政・灯油配送業者・IoT関連企業6者によるタイアップ事業協定を締結した上で、新篠津村においてH29.12～H30.5までIoTを活用した効率的な灯油配送システムの地域実証実験を実施。
- このシステムを使うことで、配送効率をアップできることが分かった。

<ゼロスペック（株）>

- 「農山漁村の灯油難民防止等に向けたIoT地域実証実験（中間）報告書」について、スライドで説明を行った。
- 灯油配送時の給油量に最大23倍の差。これを平均化することで効率がアップできる。
- 配送回数を削減することで、35,233時間の削減、時間創出。
- 灯油タンクへのセンサー設置、データ収集の仕組みは特許取得。
- 家の中のゲートウェイはスマートスピーカーなど。将来的には家の外のゲートウェイを作り

たい。それぞれのセンサーがつながることで、災害時にも威力を発揮する。

【 「Sigfox を利用した IoT 最新事例」 の説明 】

<情報政策課主査>

- 京セラコミュニケーションシステム株式会社から資料の提供を受けたので、内容を説明する。

ゼロスペックへの質問

<情報政策課長>

Q センサーのコストは？

A 個数等により大きく変動するが、通信料などをこみで数千円/年・台程度。物の販売では無く、権利を売っている

Q なぜ権利なのか？

A センサーの機能は日進月歩で進んでいる。販売してしまうと、更新が出来ない。我々は更新も含めて最新のものを使えるようにしたい。

Q 通信成功率99.7%とは、地形の影響か？

A 通信距離が遠かったというのもあったかも知れないが、時期が2月、3月なので積雪の深さも関係あるかも知れない。

Q 1日4回の測定と言うことだったが、今すぐの数値が知りたいというの出来るか？

A 測定間隔は初期設定で決まるのでリアルタイムは出来ない。

<水産林務部森林計画課主査>

Q ペレットストーブのペレットでも使えるか？

A 固形の方が得意。

<情報政策課主幹>

Q センサーの耐久性について、温度の大きな変化については大丈夫ですか？

A 今日もたまたま東京でテストしているが、大きな温度変化を何回も繰り返し替えてテストしているが、大丈夫である。

Q リアルタイムは難しいということであったが、測定間隔を短くすれば、災害時に河川の増水時などにもセンサーは使えるか？

A 通信頻度を高くして、河川でも使える。今マンホールで使えないかという要望も来ている。

<情報政策課主査>

Q 大雨時に、警報と組み合わせて測定頻度を変えるとすることは可能か？

A 途中で測定頻度をリモートで変えることは出来ないが、測定値がこの高さまで来たら測定頻度を変えるというのはプログラムで出来る。

危険水位の何%まで来たら、測定頻度を高くするというのは可能。

【 先進地調査候補地 】

<情報政策課主査>

- 3カ所の先進地について提案をいただいた。
- これから調整などを行いたいので、候補地の選定は事務局一任でお願いしたい。
- 参加者一同了解した。

【 閉会について 】

<情報政策課主幹>

- 次回の会議開催は10月くらい。
- 次回会議ではICT推進委員会議への中間報告の案を提示したい。

以上